

■挽き板フレンチ ヘリンボーン フローリング <床暖兼用>

・このたびは、弊社商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。本書には施工に関するポイントや注意事項をまとめております。商品の特性をご理解いただき、安全でより美しい仕上がりに施工していただくために、施工前に必ず本書をご一読くださいますよう、お願いいたします。

安全上のご注意

注意

※この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」です。

- ・接着剤を使用する際は、換気を十分に行ってください。
- ・接着剤を使用する前に必ず接着剤容器に記載されている、安全上の注意、使用方法、使用上の注意を読み正しくご使用ください。守らない場合、健康を害するおそれがあります。

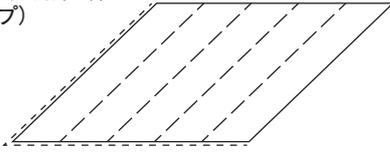
施工上のご注意

- ①この商品は、一般住宅用および土足用（内装）のフローリングです。
屋外及び重歩行*にはご使用になれません。また、屋内でも浴室など、湯気にさらされたり、たえず水がかかるところでは、ご使用になれません。
※重歩行用：歩行者が極端に多い箇所（目安：10,000人/日以上歩行通行量、例：百貨店出入口・駅改札口等）
- ②床暖房に施工する際は、床暖房放熱体メーカーの施工説明書をよく読み、注意事項を守って、正しく施工してください。なお、適合機種については弊社又は床暖房放熱体メーカー様にご確認ください。
- ③直射日光に当たったり、雨に濡れる場所、湿気の多いところでは保管しないでください。
長時間、水に濡れたまま放置しますと、カビの発生や腐れ、変色、ひび割れ、はがれなどの原因となります。また、立てかけ状態での保管を避け、開梱後は速やかに施工してください。
- ④下地が濡れていないことをご確認ください。下地が濡れていると施工後、フローリングへのカビの発生、変色、突き上げ、スキ、反り、床鳴り（踏み鳴り）が発生する事がありますので、下地の含水率が確実に14%以下になってから施工してください。
- ⑤接着剤は必ず指定の接着剤をご使用ください。
指定以外の接着剤（木工用白ボンドなど）を使用すると、フローリング施工後、床鳴り（踏み鳴り）や接着不良、スキ、反りなどのトラブルの原因となります。特に、指定以外の接着剤（木工用白ボンドなど）は、床暖房のパイプを劣化させる原因となりますので、床暖房には使用しないでください。
- ⑥指定以外の釘は使用しないでください。フィニッシュネイルなどを使用しますと、フローリング施工後に床鳴り（踏み鳴り）、スキ、反り等の原因となります。
- ⑦施工前に必ず仮並べを行い、色の濃淡、空柄など、部分的に片寄らないように、全体の色柄のバランスをご確認ください。
- ⑧施工工具は、各工具の取扱説明書に従って、適切に保護具（保護メガネ、防じんマスクなど）を使用してください。特に、フローリングカット時は木粉により、むせる場合があります。
- ⑨木質フローリングは湿度の変化により伸縮する性質があります。特にフローリング長辺側の巾木や被せ見切りの下などには、必ずスキ間を設けて、伸びを吸収できるようにしてください。
- ⑩この商品は、フローリング角部を鋭角に加工しています。運搬や保管の際は、鋭角部分に注意してください。
また、あて木ですき間を寄せる際は、鋭角部を叩かないように注意してください。
- ⑪フロア同士のすき間の寄せ方が不十分な場合は、隣り合うピース同士でズレが生じることがありますので、注意してください。
- ⑫ワックスを塗布されますと、フロアの表面がワックスの被膜となるため傷のつきにくさ、抗菌・抗ウイルス性（抗ウイルス性能を付与したフロアのみ）等の塗膜性能が発揮されなくなります。

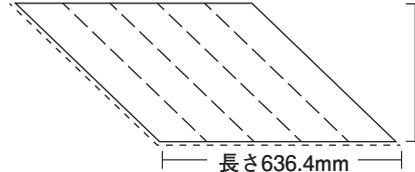
1 施工前の準備

1 梱包内容

①フローリング 製品仕様
(Aタイプ)



(Bタイプ)



サイズ：厚み12mm x 巾303mm x 長さ636.4mm

長さ636.4mm

- ・本商品は、上図のように実の向きが異なるA・Bタイプ二種類のフローリングで構成されています。1梱包内に二種類が4枚ずつ同梱されています。

2 使用する接着剤

- ・必ず、下記接着剤をご使用ください。

【ウレタン接着剤】

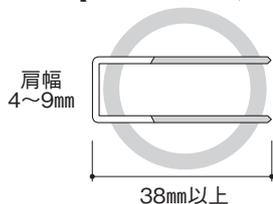
メーカー名	商品名	使用量の目安	可使用時間	作業温度
朝日ウッドテック(株)	グルーWG-902X2(カートリッジタイプ・760ml/本 2本入)	1.5坪/本	—	—
	グルーWG-902X6(カートリッジタイプ・760ml/本 6本入)	1.5坪/本	—	—
	グルーWG-902X12(カートリッジタイプ・760ml/本 12本入)	1.5坪/本	—	—
	グルーWG-910S・(W) (缶入りタイプ10kg/缶)※	1.5坪/kg	40分	夏(S):15~35℃ 冬(W):5~25℃
	グルーWG-915S・(W) (缶入りタイプ15kg/缶)※	1.5坪/kg		
アイカ工業(株)	JW-400K(4) (ジャンボカートリッジタイプ・760ml/本 12本入)	1.2坪/本	—	—
	JW-400NF(H) (2Wayマルチパック・600ml/本 12本入)	1.5坪/本	—	—
コニシ(株)	KU928C-X(カートリッジタイプ・760ml/本 12本入)	1.5坪/本	—	—
オート化学工業(株)	オートアドハーネダジャンボ(カートリッジタイプ・850ml/本 12本入)	1.7坪/本	—	—
	オートフロアスター600(フィルムパック・600ml/本 10本入)	1.2坪/本	—	—

※商品番号末尾Sは夏期、Wは冬期使用タイプです。缶入りタイプを使用の場合は、ノズル付容器に入れてご使用ください。

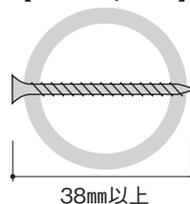
3 フローリング固定用の釘

- ・フローリング固定用の釘は必ずフロアステー플またはフロアネイルをご使用ください。
- ・フィニッシュネイルは、固定する力が弱いので、絶対にご使用にならないでください。

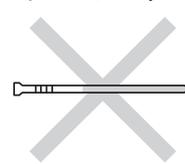
【フロアステー플】



【フロアネイル】

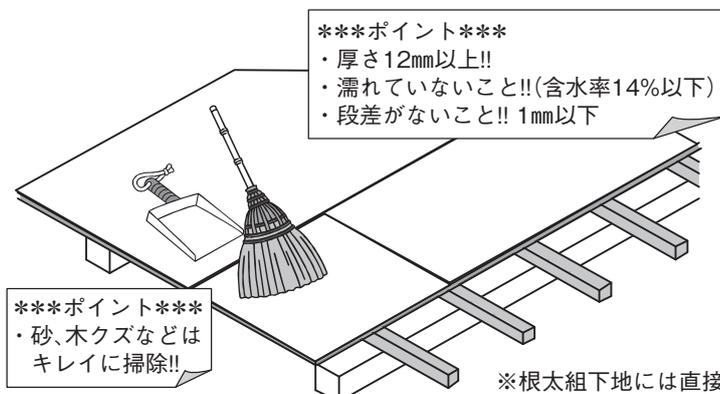


【フィニッシュネイル】



2 下地の確認

1 捨て張り合板下地(ネダレス工法含む)の場合



※根太組下地には直接施工できません。

2 二重床下地の場合

- ・二重床メーカーの施工説明書を読み、注意事項を守って正しく施工してください。

3 床暖房を設置する場合

- ・床暖房放熱体メーカーの施工説明書をよく読み、注意事項を守って、正しく施工されているか確認してください。なお、二重床に床暖房を設置されている場合は、ベースパネル(パーティクルボードなど)に捨て張り合板が施工されています。この捨て張り合板の接続箇所が、ベースパネル(パーティクルボードなど)の接続箇所より、100mm以上離れているか確認してください。
- ・床暖房放熱体の「通湯(漏洩)・通電テスト」、「試運転」など、機器の工事および検査が完了してから施工してください。

3 施工の手順

手順1 美しく、バランスよく並べる。

1 仮並べ



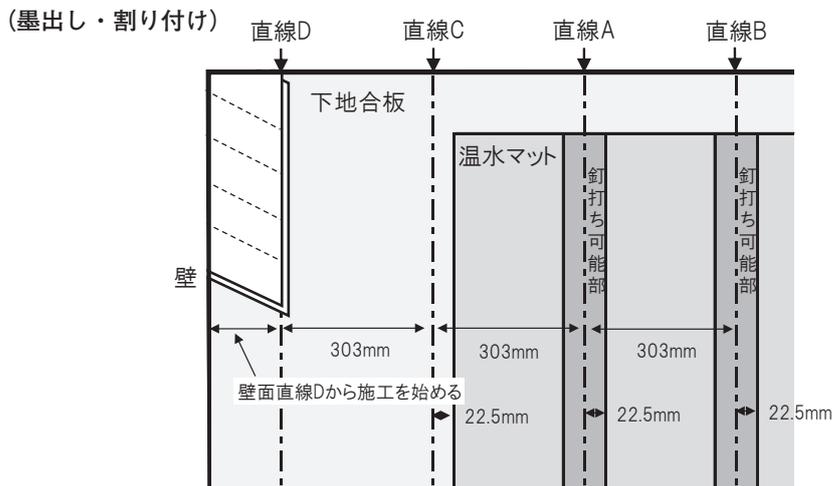
- ポイント** ・施工する前に必ず仮並べを行い、色の濃淡・杓柄などが部分的に片寄らないように、全体の色柄のバランスを確認してください。
天然木を使用しているために、1枚1枚の色柄が異なります。

手順2 墨出し

1 墨出し・割り付け

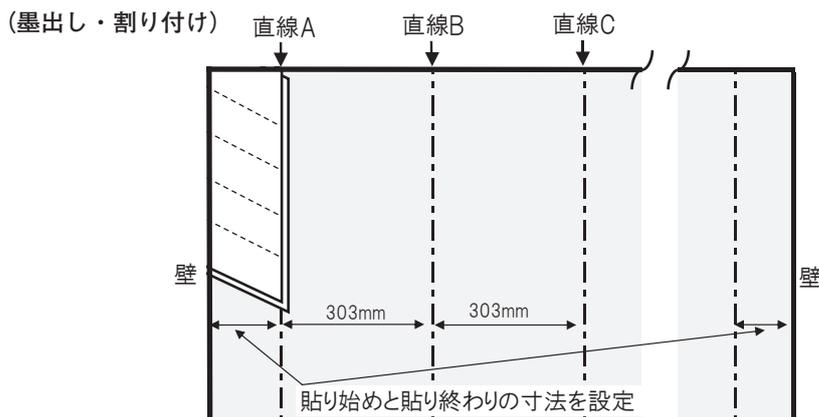
床暖房用として施工する場合

- ・温水マット小根太上に確実にフローリングを施工するために、温水マットの小根太から墨出しを実施してください。
- ・墨出しは、各小根太巾45mmの中心22.5mmの箇所を直線A・Bを引き、小根太間の距離が303mmであることを確認してください。
- その後、壁際に向かって、直線C・Dを墨打ちしてください。
- ・割り付けは、実の向きが異なるA・Bタイプの溝位置が一致するようにずらして配置します。(254.6mmずらし)
- 貼り進み順序は、壁際からAタイプを一行分貼り進め、二列目はBタイプを貼り進めます。
- 貼り進めていく方向側が常にオン実になるように施工してください。



一般用として施工する場合

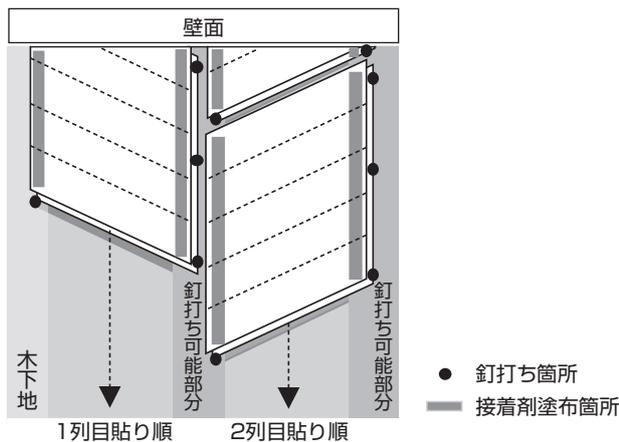
- ・間取り寸法から、フローリングの貼り始めと貼り終わりの巾寸法を確認してください。
- ・貼り始めの巾寸法を確認後、直線Aの墨出し位置を決めてください。
- ・直線B以降は、303mm間隔で墨出しを行ってください。
- ・割り付けは、実の向きが異なるA・Bタイプの溝位置が一致するようにずらして配置します。(254.6mmずらし)
- 貼り進み順序は、壁際からAタイプを一行分貼り進め、二列目はBタイプを貼り進めます。
- 貼り進めていく方向側が常にオン実になるように施工してください。



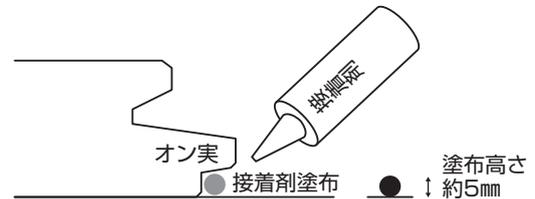
手順3 しっかりと接着剤を塗布し、釘で固定する

床暖房用として施工する場合

(接着剤の塗布および釘打ち位置の詳細図)



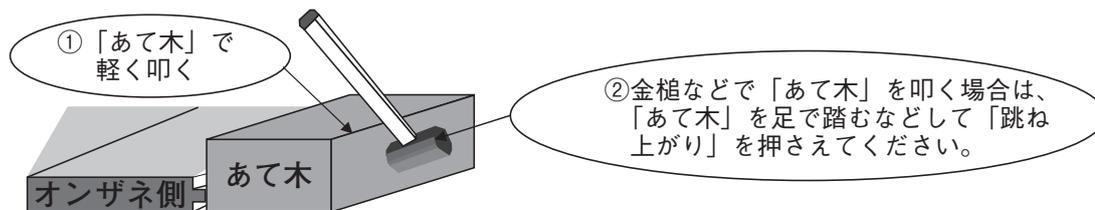
〈短辺部のオン実下接着剤塗布〉



① 接着剤の塗布

- ・接着剤の塗布糊高さは5mmとして、塗布してください。
- ・長辺部は、温水マットの小根太上へ接着剤を塗布してください。
- ・短辺部は、オン実下に接着剤を塗布してください。

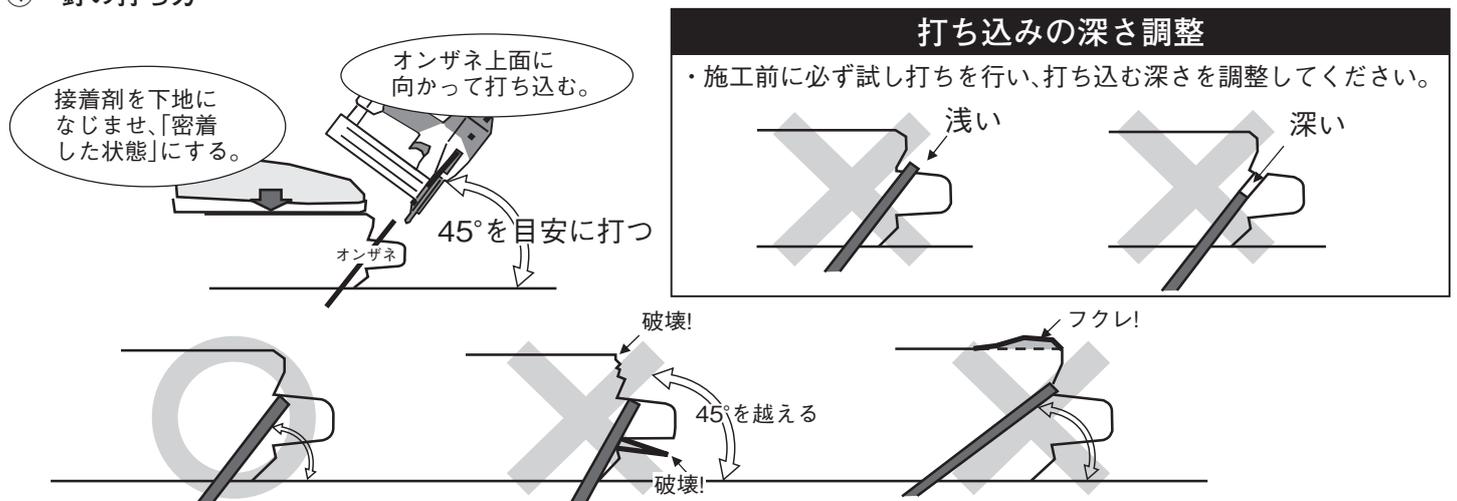
② フローリングをスキ間なく寄せる



③ 釘打ちの位置

- ・施工 接着剤の塗布および釘打ち位置の詳細図を参考にしてください。放熱体の「釘打ち可能部分」以外では、絶対に釘・仮り釘（フィニッシュネイル含む）などを打たないでください。「温水パイプ」や「電気配線」を打ち抜いて、漏水・漏電の原因となります。
- ・釘打ち可能部分以外にフローリング短辺部を割り付けると、釘固定ができずスキ・段差発生の原因となります。

④ 釘の打ち方



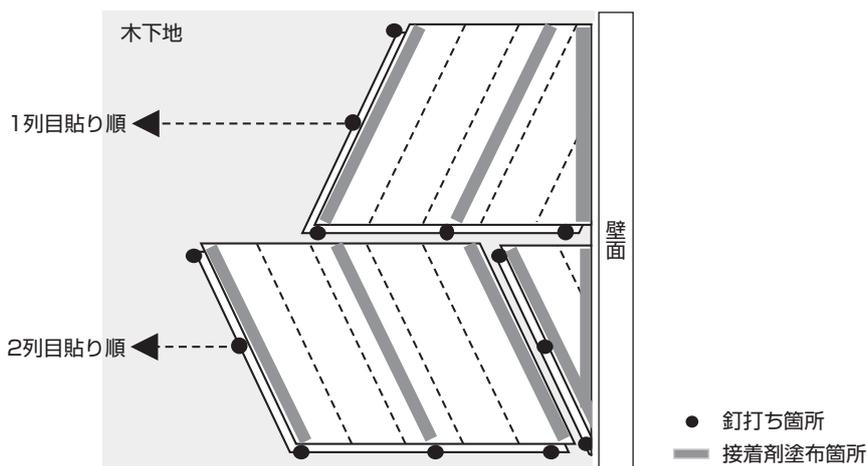
- ・フローリング上での作業時は、表面に傷や汚れをつけないように、十分にご注意ください。
- ・釘を立てて打つと、オンザネが破壊し、フローリングの間にスキが発生する場合があります。

■ 床暖房までに必要な期間

- ・接着剤が硬化するのに必要な期間を、十分にとってから床暖房の運転を開始してください。
(5℃以下で6日以上、5～15℃で4日以上、15℃以上で2日以上)

一般用として施工する場合

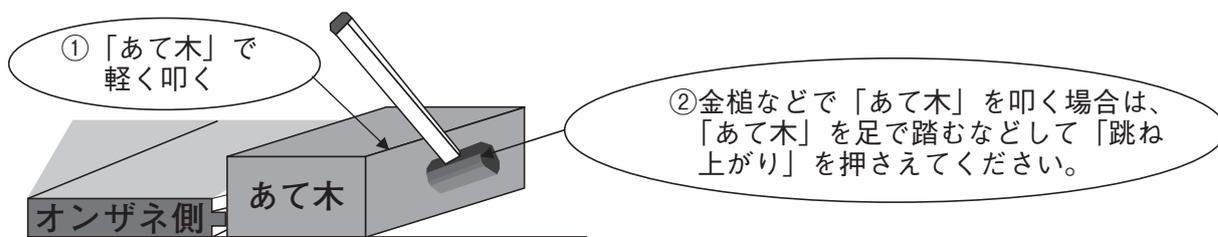
(接着剤の塗布および釘打ち位置の詳細図)



① 接着剤の塗布

- ・接着剤の塗布糊高さは5mmとして、塗布してください。
- ・短辺部と平行方向に両端・真中の三箇所に接着剤を塗布してください。

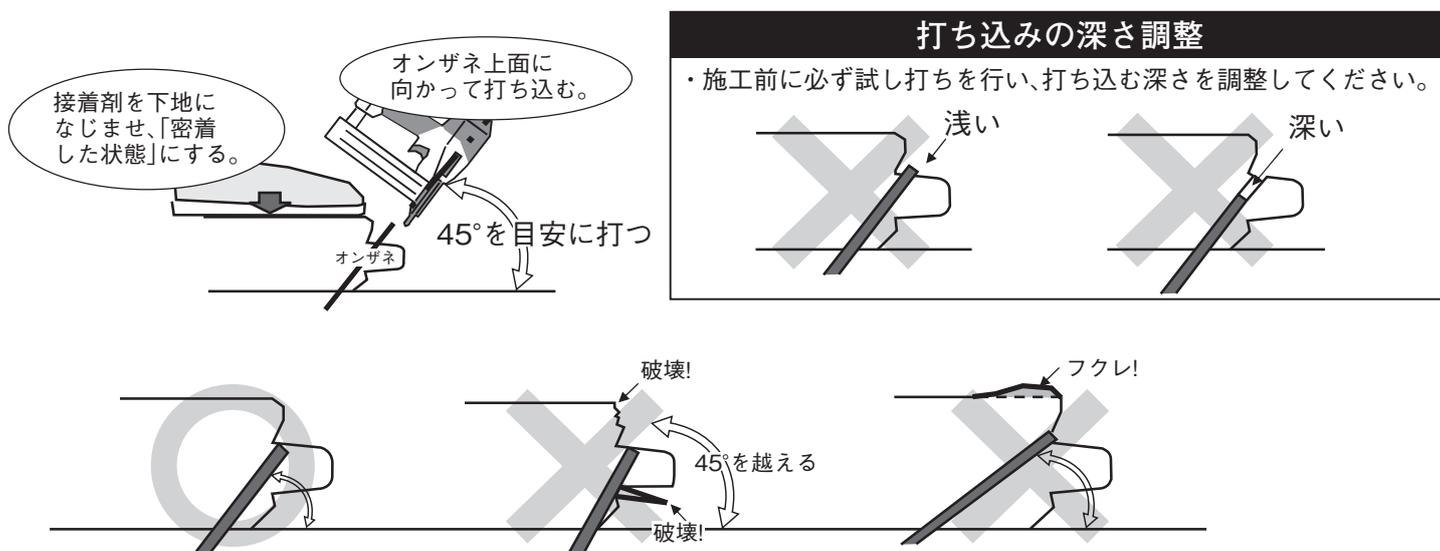
② フローリングをスキ間なく寄せる



③ 釘打ちの位置

- ・施工 接着剤の塗布および釘打ち位置の詳細図を参考にしてください。放熱体の「釘打ち可能部分」以外では、絶対に釘・仮り釘（フィニッシュネイル含む）などを打たないでください。「温水パイプ」や「電気配線」を打ち抜いて、漏水・漏電の原因となります。
- ・釘打ち可能部分以外にフローリング短辺部を割り付けると、釘固定ができずスキ・段差発生の原因となります。

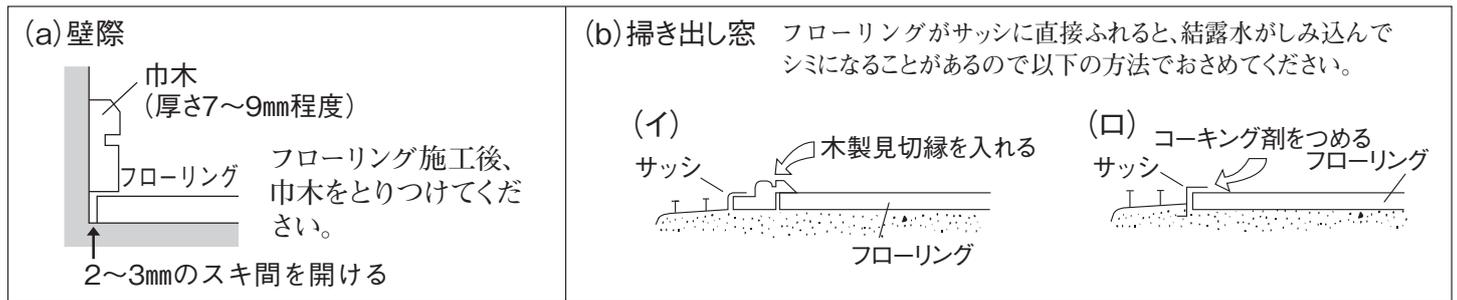
④ 釘の打ち方



- ・フローリング上での作業時は、表面に傷や汚れをつけないように、十分にご注意ください。
- ・釘を立てて打つと、オンザネが破壊し、フローリングの間にスキが発生する場合があります。

手順4 キレイにおさめる

1 おさめ方



手順5 施工後も美しく (養生)

1 養生

- ・施工後は直射日光を避け、傷や汚れを防ぐために、養生シートを被せ、養生テープで固定してください。その上に合板、養生ボードを敷いて十分に養生してください。なお、養生シートとフローリングの間に、ゴミなどが無いようにフローリング表面を、必ず掃除してください。
- ・養生シートは必ず、壁際、サッシ際まで被せてください。養生シートが被っていない場所は、直射日光にあたり、色が変わる場合があります。
- ・養生シートは平面 (フラット) タイプをご使用ください。凹凸 (エンボス) タイプの養生シートを使用すると、艶ムラや養生シートの跡が残ったりしますので使用しないでください。
- ・養生テープは当社別売の養生テープ (YT-T3) をご使用ください。梱包用テープなどを使用した場合は、粘着力が強く、フローリングの化粧面を破損させたり、粘着剤が残ったりする可能性があります。

4 お引き渡しまでの間のご注意

1 換気についてのご注意

- ・当商品はF☆☆☆☆タイプとなっておりますが、お引渡しまでの間できるだけ、居室等の換気につとめてくださいますようお願いいたします。
- ・換気することにより、湿気が室内にこもらず、突き上げ等の対策となります。

2 水濡れ等に対するご注意

- ・工事完了後は、雨水に濡らさないよう窓の閉め忘れなどにご注意ください。万一、水濡れした場合はすぐに拭き取り、十分に乾かしてください。濡れたまま放置しておくと、膨れや変色などになることがあります。

5 使用上のご注意

1 汚れに関するご注意

- ・毛染め剤、パーマ液、靴墨の汚れは一度付着すると拭き取ることができない場合があります。使用する場合はビニールなどでフローリングをカバーしてください。

【工事業者様へ】 施工終了後、この施工説明書はクリーニング業者様へお渡しください。

■ワックスについて

・フリーワックス仕様になっておりますので、ワックスがけは必要ありません。

・ワックスがけを希望される場合、ワックスがけは可能です。

但し、ワックスを塗布されますと、表面の平滑性・艶の変化などが発生し、フローリング表面の美観を損ねることがあります。また、フローリングの表面がワックスの被膜となるため、傷の付きにくさ、抗菌・抗ウイルス性等の塗膜性能が発揮されなくなります。

ワックスがけをされる場合は、下表に記載のものをご使用ください。

・ワックスがけをされる場合は、ワックスに記載の使用上の注意をよく読んでからご使用ください。
また、事前に試し塗り等で仕上げの確認を行うことをお勧めします。



- ポイント**
- ・ワックスは木質床用水性樹脂ワックスを使用してください。
 - ・ロウタイプは使用しないでください。

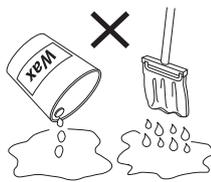
(推奨ワックス)

UV塗装品			
メーカー名	ワックス商品名	業務用	家庭用
(株)リンレイ	ハイテックフローリングコートつや消し20	○	—
	ハイテックフローリングコート	○	○

ワックス使用時の注意事項

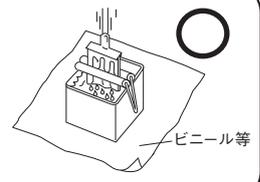
・ワックスは絶対にフローリングの上に流さないでください。

フローリング面にワックスを流したり、しずくが落ちるような布で塗ったりすると、部分的にフローリング表面の美観を損ねることがあります。



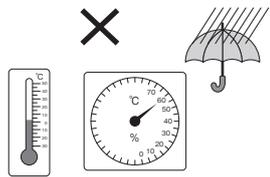
・ワックスはきれいな布に含ませ、しずくが落ちない程度に絞ってフローリング面にムラなく塗りひろげてください。

・容器の下にはビニール等を敷いてください。



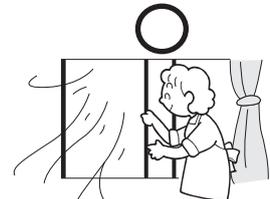
・室内の温度が5℃以下の時や雨の日で湿度が極端に高い時はワックスは使用しないでください。

フローリングの表面が白っぽくなる原因となります。



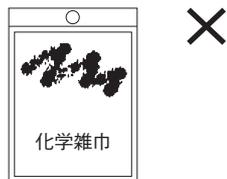
・ワックスがけの際は、換気を行ってください。

湿気がこもり、ムラ等の原因になります。

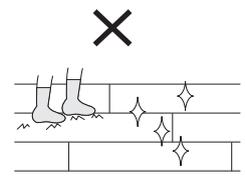


・ワックスがけの前後で化学雑巾は使用しないでください。

フローリングの表面が白っぽくなる原因となります。

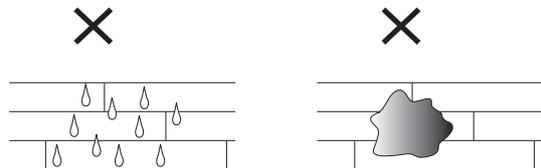


・ワックスを厚く塗りすぎると、歩行時にワックスの被膜の割れる音が発生することがあります。



・ワックスをかけるときは、フローリング面が十分に乾燥している(水気がない)ことを確認してください。

・フローリング用洗剤を使用する時は、洗剤分がフローリングに残らないように拭き取ってからワックスを塗ってください。



WOODTEC

朝日ウッドテック株式会社

本社 大阪市中央区南本町4-5-10 〒541-0054

東京支店 東京都江東区新木場1-4-6 〒136-0082

●商品については下記営業までお問い合わせください。

東京(東京千葉 東関東チーム) 03-5569-5512
支店 神奈川チーム 03-5569-7701
東部特需ユニット 03-5569-5513
スペースソリューション 03-5569-5514
営業部

大阪(大阪チーム) 06-6245-9501
本社 西部特需ユニット 06-6245-9502
スペースソリューション 06-6245-9503
営業部

北海道(札幌) 011-207-1177
東北(仙台) 022-287-0145
北関東(上尾) 048-775-0471
東京西(府中) 042-361-3634
名古屋 052-238-2081

北陸(金沢) 076-292-1830
中四国(岡山) 086-897-3791
九州(福岡) 092-481-5228